



幕監査第102号

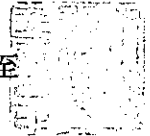
令和5年8月24日

幕別町長 飯田 晴義 様

幕別町監査委員 八重柏 新 治



幕別町監査委員 藤 谷 謹 至



令和4年度幕別町基金の運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により審査に付された令和4年度幕別町基金運用状況について審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

令和4年度幕別町基金の運用状況審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

幕別町各基金の運用状況

2 審査の期間

令和5年7月13日から令和5年8月21日まで

3 審査の手続

審査に付された各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性、基金運用状況の妥当性の検証を主眼とし、関係帳簿及び関係書類との照合等その他通常実施すべき審査手続を幕別町監査基準に準拠し実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものと認められ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

当年度の運用の状況は次のとおりである。

区 分		令和3年度末 現在高	令和4年度中		令和4年度末 現在高
			積立額	取崩額	
積立 基金	財政調整基金	1,620,000,000	211,000,000	460,000,000	1,371,000,000
	減債基金	292,570,000	51,000,000	164,600,000	178,970,000
	まちづくり基金	1,203,284,981	135,101,136	176,527,000	1,161,859,117
	森林環境譲与税基金	40,840,640	32,327,502	12,428,446	60,739,696
	新型コロナウイルス感染症 関連無利子融資円滑化基金	100,196,251	83,452	0	100,279,703
	一般会計計	3,256,891,872	429,512,090	813,555,446	2,872,848,516
	国民健康保険基金	277,157,698	7,202,135	36,846,000	247,513,833
	介護給付費準備基金	125,993,943	71,729,740	44,300,000	153,423,683
	農業集落排水事業償還基金	10,727,489	5,578	855,506	9,877,561
	積立基金計	3,670,771,002	508,449,543	895,556,952	3,283,663,593
定額運 用基金	土地開発基金	536,899,228	8,871,265	10,330,160	535,440,333
	現金	365,871,618	8,871,265	0	374,742,883
	土地	171,027,610	0	10,330,160	160,697,450
	定額運用基金計	536,899,228	8,871,265	10,330,160	535,440,333
合計	現金	4,036,642,620	517,320,808	895,556,952	3,658,406,476
	土地	171,027,610	0	10,330,160	160,697,450

(注) 決算年度末現在高は、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額652,816,182円を除く。

財政調整基金は、前年度末に比し249,000,000円(15.4%)減少している。これは、211,000,000円の積み立てに対し、460,000,000円の取り崩しがあったことによる。

減債基金は、前年度末に比し113,600,000円(38.8%)減少している。これは、51,000,000円の積み立てに対し、164,600,000円の取り崩しがあったことによる。

まちづくり基金は、前年度末に比し41,425,864円(3.4%)減少している。これは、135,101,136円の積み立てに対し、176,527,000円の取り崩しがあったことによる。

森林環境譲与税基金は、前年度末に比し19,899,056円（48.7%）増加している。これは、32,327,502円の積み立てに対し、12,428,446円の取り崩しがあったことによる。

新型コロナウイルス感染症関連無利子融資円滑化基金は、前年度末に比し83,452円（0.1%）増加している。これは、83,452円の積み立てに対し、取り崩しなかったことによる。

国民健康保険基金は、前年度末に比し29,643,865円（10.7%）減少している。これは、7,202,135円の積み立てに対し、36,846,000円の取り崩しがあったことによる。

介護給付費準備基金は、前年度末に比し27,429,740円（21.8%）増加している。これは、71,729,740円の積み立てに対し、44,300,000円の取り崩しがあったことによる。

農業集落排水事業償還基金は、前年度末に比し849,928円（7.9%）減少している。これは、5,578円の積み立てに対し、855,506円の取り崩しがあったことによる。

土地開発基金は、前年度末に比して1,458,895円（0.27%）減少している。これは、現金で8,871,265円の積み立てがあった一方、取り崩しがなく、土地では積み立てがなかった一方、10,330,160円の取り崩しがあったことによる。

むすび

一般会計の令和4年度末の基金残高は2,872,849千円で、前年度末に比して384,043千円（11.8%）減少している。これは429,512千円積み立てられた一方、813,554千円の取り崩しがあったためである。

一般会計と特別会計を合わせた当年度決算剰余金で、652,816千円が基金に繰り入れられることになったことは、厳しい財政状況の中にあつて努力の跡が伺え一定の評価ができる。今後も歳入の確保と経費の節減に努め、基金残高の充実に努められたい。